

教科目名 **哲学特論 (Special Lecture on Philosophy )**

学科名・学年 : 全専攻2年

単位数など : 選択 2単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 堀 栄造

<b>授業の概要</b>		
現代哲学の主潮流の一つを成すドイツの哲学者エドムント・フッサールの創始した現象学は、意識による世界の志向的構成を研究する認識論であるとともに、また、意識が構成した世界を土台として学問が構築されるさまを研究する学問論でもある。したがって、フッサールの現象学に学びながら、科学の学問論的位置づけや学問論的意義を考察する。前半は講義形式をとり、後半は著作講読を輪番制で行う。授業全般を通じて、質疑応答などを通して相互に発言し合う機会を多く設け、活発な議論の展開となるように努める。		
<b>到達目標</b>		<b>大分高専目標 (A1), J A B E E 目標 (a)</b>
フッサールの現象学は先験的 (超越論的) 意識の次元による経験の世界および理念的世界の基礎づけであるということ考察することによって、科学の学問論的位置づけや学問論的意義の理解を図る。また、著作講読によって哲学的文章を通して西洋的思考および西洋的文化に直接接し、地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養を育てることをめざす。		
回	授 業 項 目	内 容
1-6	現象学的反省の深化と超越論的還元	超越論的還元への方向性 「立体的超越論化」としての超越論的再現前化から再生への空想概念の転換 「内的空想」という概念への到達 「再生」と「空想における反省」
7-9	『Philosophie als strenge Wissenschaft』の著作講読	フッサール著『厳密な学としての哲学』の著作講読
10-13	『Die Krisis der europäischen Wissenschaften und die transzendentale Phänomenologie』の著作講読	フッサール著『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』の著作講読
14	学年末試験	
15	後期期末試験の解答と解説	
履修上の注意	ノートをしっかり取り、積極的に発言し、著作講読はしっかり予習すること。	
教科書	プリント配布。	
参考図書	堀栄造著、「フッサールの現象学的還元」、晃洋書房。	
関連科目	哲学特論 , 哲学概説, 思想史, 倫理。	
評価方法	定期試験により評価する。	